

拝啓 今年も早や3月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。コロナ・ウイルスの蔓延は、ヨーロッパで激しいようですが、オリンピックもとうとう延期になってしまいました。うがい、手洗い、マスクを励行し、自分でできることを行い、感染しないように注意したいと思います。暖かい日には公園など散歩をして、日の光を浴びることが、精神的にずいぶん気持ちを落ち着かせてくれるように思います。

今回から、佐生健光さんの『キリスト教と称名』より引用いたします。佐生さんは、高円寺東集会の共同主催者となっておりましたが、2016年にお亡くなりになりました。小西芳之助先生の古くからの信者で、仏教に詳しく、また旧新約聖書の称名の出ている箇所を丹念に探され、いくつもの紹介文を書かれています。

P. 11 には、「佐生訳横川法語」を掲載していますが、横川法語を現代のクリスチャン用に書き直しされています。

3月18日、9月に開く同窓会の会場を確保するため清澄庭園に出かけ、予約を済ませた後、園内をのんびり散歩しました。都内の池のある日本庭園としては、小石川後樂園、六義園、浜離宮、新宿御苑などがありますが、清澄庭園が一番きれいだと思います。

3月22日(日)の高円寺東集会に出た後、川口重雄先生主催の東北被災地見学旅行に参加しましたが、大変感銘を受けた旅行でした。3月23日の午前は、大船渡の近くにある碁石海岸を、7人乗りの小さな船2艘で観光して来ました。リアス式海岸で、洞窟を潜り抜けて船が進んだり、誠にきれいな場所でした。その日の午後は、陸中高田の災害復旧の現地を見ました。最初に立派な国立の記念館を見ましたが、震災の直後、国土交通省の横の道路の整備優先の整備の仕方が効果を発揮していたことなど、私のもとの勤め先の後輩がよく頑張ってきたことも見る事ができ、うれしく思いました。災害後9年たって、道路、記念館、地盤のかさ上げなどインフラ、箱物の整備は進みましたが、人々が戻ってきて定住するには、まだ何年もかかると思います。

3月24日は、岩手県一関市藤沢町にある大籠キリシタン殉教公園に行きました。江戸時代の初め、300人を超すキリシタンが、この地で殉教したことを記念して建てられた、資料館、彫刻家舟腰安武氏(長崎にある26聖人殉教の日を作った方)の制作された十字架のイエス像を飾ってあるクルス館等を見学しました。クルス館に至る道は、キリストの十字架の道として、絵の説明付きで飾られてあり、感動しました。山里にあるずいぶん立派な公園施設でした。その日の午後は、^{げいびけい} 猊鼻溪に行き、猊鼻溪の船下りをして楽しみました。急流の川下りかと思っていましたら、竿でこぐ底の浅い船で、兩岸にある100メートルくらいある断崖絶壁を眺めながらの往復1時間半ののんびりとした船下りでした。

桜の花が満開となり、普段の年でしたら心が晴れる時期ですが、今年はコロナの為に複雑で沈んだ4月になります。皆さまもお身体ご自愛され、お過ごしくださいますように。

3月27日

山口周三

エンカウンターの読者各位